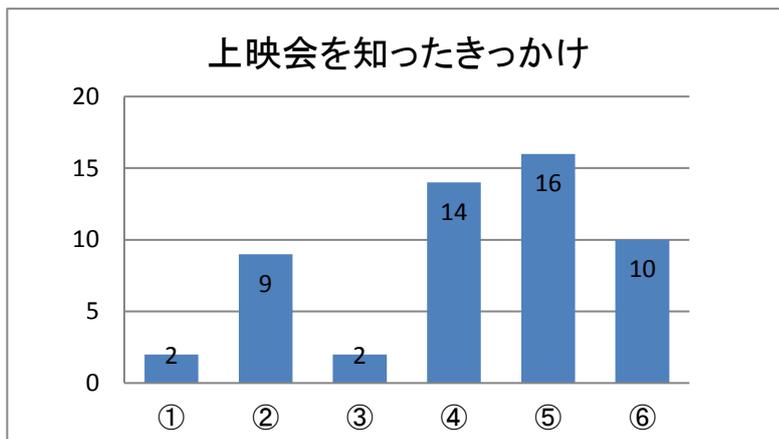


映画「むかしMattoの町があった」苫小牧上映会 アンケート結果

問1. 映画「むかしMattoの町があった」苫小牧上映会をどこで知りましたか？（複数回答可）

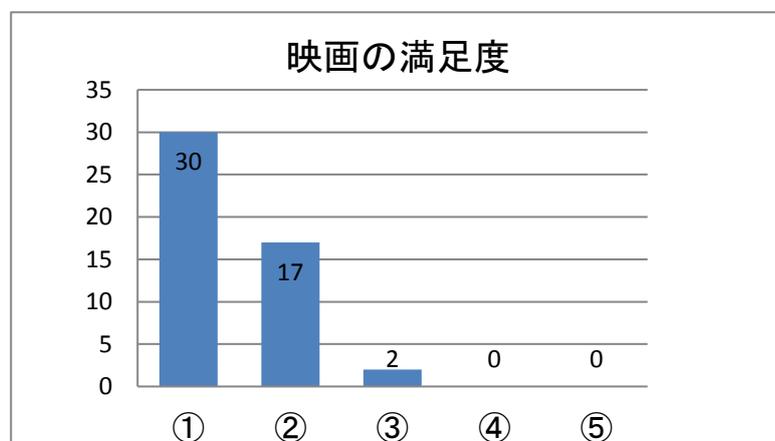
- ①Mattoの会ホームページ(事務局だより含む)
- ②チラシ
- ③友人・知人から聞いた
- ④所属団体から聞いた
- ⑤職場・団体への案内
- ⑥その他



⑥その他－広報誌1名、新聞6名、上映会関係者から2名、研修として1名

問2. 映画の満足度をお伺いします。

- ①大いに満足 ②満足 ③ふつう ④不満 ⑤大いに不満



《映画の感想》

☆大変感動しました。生きることの意義を益々深めると同時に、今後も精一杯世の為人の為に尽くしたいと思います。本当にありがとうございました。

☆大変感動しました。とても良かったです。

☆精神障がいの見方は、国とも同じように感じた。以前の入院施設と変わらなかったように感じた。

☆改めて、過去の事として捉えるのではなく、現状の事実を知ることだと強く思った。

☆現在でもある課題が取り上げられていて、とても考えさせられました。

☆何とも言えない気持ちになりました。

☆精神障がいも一つの障がいに過ぎません。「市民です」そして何より「人間である」ことを改めて痛感し、その人間としての尊厳を守られるべく、私にも何かできはしないかと反省と共に思いました。ありがとうございました。

☆涙、涙でした。とても良かったです。

☆とても興味深かったです。日本の現状についても、知りたくなりました。

☆精神障がい者がとても大変でしたが、精神病院の先生達もとても苦しそうでした。この映画は感動しました。素晴らしい映画で、勉強になりました。

☆とにかく今は何も書けません。「人間の力の偉大さ」に、ただ驚くばかりです。

☆この企画を作って下さった方々に感謝します。

☆日本でも精神病院の廃止に向け、運動を進めよう。

☆今の医療が、この映画の様な先駆者の苦労の結果と思った。

☆とても感動いたしました。良い映画でした。

☆人間性とは何か、心とは何かをとても考えさせられました。可能性を探り、生きる選択肢を増やすという考えは、世界共通なのだと改めて知りました。が、イタリアでは1960年代の事だと考えると、遅れている日本の現実を思い知らされます。

☆言葉に出来ないような複雑な思いと葛藤を覚え、とても感情を揺さぶられました。「狂う事」とは何なのか、「病気」とは何か、とても考えさせられました。特に「苦しいから狂うのか、狂ったことゆえに苦しいのか」というボリスの問いが印象的で「精神病」や「狂う事」というのは特別な異常ということではなく、人間の苦しみの表現の一つなのではないか、などと本当に色々と考えました。これからの自分に何ができるのかわかりませんが、今日感じた思いを心にとめてゆきたいと思いました。鑑賞の機会を頂き、本当にありがとうございました。

☆前編だけでしたが、本人より家族が異常なくらい本人を追い込んでしまっているのではと思った。

☆寄り添う難しさ、理解の大変さを感じた。

☆精神科のあり方が改めてよくわかった。

☆精神障がい者のありようと、対極にいる人の偏見がよく描かれている作品だと思いました。同時に、地域社会における取組の重要さを感じることができました。

☆自分も若いころ、同じ体験をしたことがあります。

☆それぞれの立場の違い、また、支援の在り方を考えさせられました。

☆全部見られませんでした。考えさせられました。

☆とても感動しました。

☆良い映画をありがとうございます。日本の社会も変わり、当事者の皆さんがより良く暮らせる日が来ることをお祈りします。

☆良い映画でした。病気ではなく苦悩があるというバザーリアの考え方が日本でも広がり、精神医療の在り方が変わっていく事を望みます。

☆大変感動しました。今後日本もこういう制度になる事を祈っております。

☆たくさんの想いがあり書ききれません。観て良かったと思いました。

☆驚いています。

☆精神障がい者の苦悩や葛藤。健常者でも生きることは難しい。普通に暮らせることが幸せだと実感しました。

☆障がいを抱える全ての人に対し、自分の想いを貫き通すことは本当に難しいと思います。私はこの映画と出逢い、これから人に何を伝えられるか考えました。これから先、私は自分の想いや信念を持って仕事ができるだろうか、自分に問いかけるそんな映画でした。

問3. その他お気づきになった点がありましたらご自由にお書きください。

☆近年、日本の精神科も変わりつつあるが、まだまだといった思いがあります。

☆医療の現場で、リアルな画面が良かったです。

☆啓蒙活動を積極的に実施すべきだと思う。そして、人間とは何かを深く考える必要がある。

☆若い人達が会場に多くいて心強く思いましたが、17万人市民のいる町でここに集まらない人の多さにも心が痛みました。

☆もう少し広く見せる工作需要。

☆会場が少し寒かった。上映時間が思った以上に長かったので、チラシ等に終了時間の目安でもあったと良かったと思います。

☆3時間を超える大作とは知らずに来ました。

☆観客のマナーが悪い。字幕が流れているうちに退席する人が多く、最後のメッセージが良く読めなかった人がいたのでは？

☆少数者の方をどう社会的に見るかが課題です。

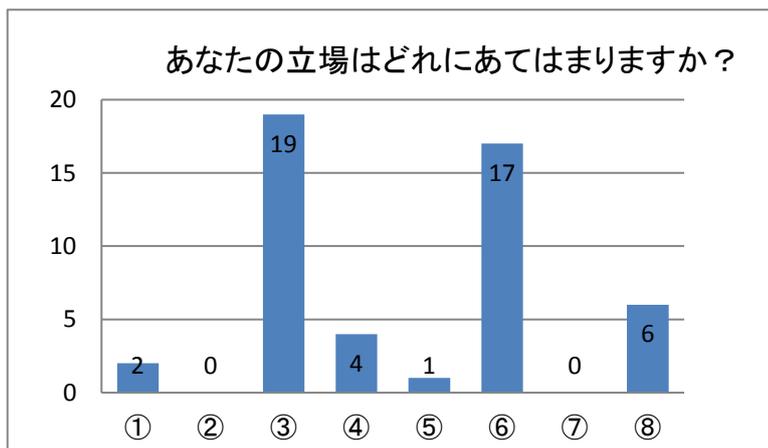
☆職場の職員に見て欲しいと思いました。DVDがあれば嬉しいです。

☆もっと一般市民の人が観られるような機会を作って欲しい。

問4. あなたご自身についてお聞きします。

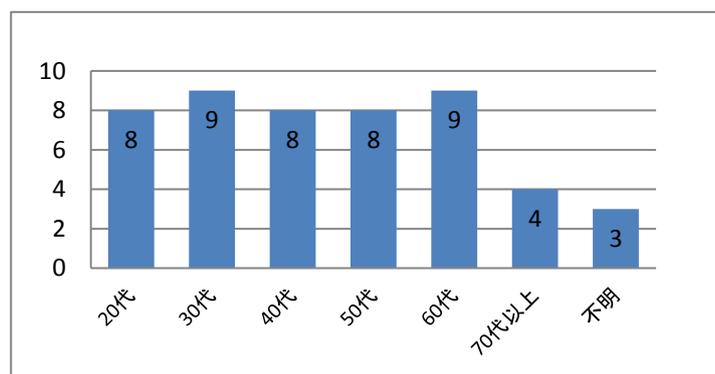
○あなたの立場は以下のどれにあてはまりますか？

①当事者 ②家族 ③支援者 ④行政職・議員等 ⑤ボランティア ⑥一般市民 ⑦学生 ⑧その他(回答なし)



④支援者—精神保健福祉士、就労支援員、看護師、管理栄養士、作業療法士、児童発達支援員

○年齢を教えてください



以上回答者49名